

研修名	<b>専門課程 ダム管理技術 【集合】</b> (昭和50～平成20年度「ダム技術」)					
目的・重点事項	ダム管理を中心としたダム技術に関する総合的な専門知識を修得させることを目的とする。 以下の点を重点項目とする。 ① ダム技術に関する体系的な知識の修得による事業執行能力向上 ② 危機管理対応としてのダム管理能力の向上 ③ ダム施設等の維持管理に関する専門知識の修得					
対象者	国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市又は独立行政法人等の技術系職員で、ダム管理又はダム事業に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者 ① 専門官、係長又はこれと同等の職にあると認められる者 ② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者					
定員(人)	国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	13	1	8	2		24
研修期間	52.5時間 10日間			令和6年 1月16日(火)～ 令和6年 1月25日(木)		
カリキュラム内容 (予定時間)	1. 講義(30.0) ① ダム管理について ② ダム関係法規、ダムと水利権、ダムの調査・設計・施工、水工施設の設計施工、ダムの再開発、ダムの点検と維持管理計画、総合土砂管理*1)、地すべりの調査と防止対策、ダム耐震照査、貯水池の管理、再生エネルギーと水力発電等 ③ 豪雨時の対応、降雨・流出予測とダム操作 *1: 河川計画研修との合同講義  2. 現場実習・課題研究等(20.5) ① ダム操作実習 (4.0) ② 施設巡視・点検実習 (7.0) ③ 課題研究 (9.5) ・危機管理(施設トラブル)対応能力向上策について ・ダム管理の堆砂対策について ・事前放流の実施について ・より有効な情報提供のあり方について 3. その他(2.0) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス  計 52.5					
前年度からの主な変更点	・実施手法変更(ハイブリッド→集合) ・定員減(30人→24人)					
担当	建設部 建設第二科 (TEL:042-321-0645)					
備考	テキスト代(予定)45,000円					